

誓いの言葉

暖かい春の日差しがきらめき、花の便りも伝わる今日、米沢市新規採用職員として辞令交付式に参加させていただき光栄に思うとともに、これから市の行政に携わっていくということへの責任で身の引き締まる思いです。

私は、生まれてから現在に至るまで米沢に住んでおり、豊かな自然と食、風土があり、何より人が温かいこのまちが、小さいころから大好きです。そんな地元、米沢の発展と住民の生活向上に貢献していけることを、たいへん嬉しく思います。

短大卒業後、先日まで私は市内の大学図書館に勤務していました。米沢について調査・学習している学生たちや、地域の方々の学びのお手伝いをするなかで、米沢市は歴史や文化が非常に豊かなまちであると改めて実感しました。上杉の城下町としての歴史はもちろん、笹野一刀彫や米沢織などの今も受け継がれている伝統工芸品、数多くの郷土料理など、ここにしかないものがたくさんあります。身近にあると当たり前すぎて、なかなかその価値に気づきにくいものだと感じました。多くの教育機関のある学園都市・米沢には、若い世代がたくさん集まります。これから先の社会を担う人材である若年層へ米沢の魅力を伝え、生まれ育った大切なまちとその歴史や文化を途絶えさせることなく、ながく残していきたいと思っております。

地方における人口減少が問題となっている昨今、米沢市の人口も減り続けており、少子高齢化も深刻化する等様々な課題を抱える中で、柔軟かつ迅速な対応が求められています。「ひとが輝き 創造し続ける 学園都市・米沢」の実現のため、どの世代も取り残すことなく、市民に寄り添った行政サービスの提供できるよう尽力してまいります。

最後になりますが、これから私たちを迎えてくださる皆様への感謝を胸に、一日でも早く信頼していただける人材となれるよう、新規採用職員一同一生懸命頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

令和七年四月一日

新規採用職員代表 佐藤 聖梨